標津町地域協議会

- ○団体旅行に加え、個人客や外国人旅行者を対象とした標津に滞在するためのコーディネート機能を確立する
- 〇鮭と酪農の恵みを体感するコンテンツ磨き上げを行い、民泊と旅館泊を組み合わせたプログラムを造成する
- 〇コーディネート人材及びガイド人材の育成とアドベンチャートラベル市場を見据えたプロモーションを展開する

北海道標津町

【採 択 年 度】 平成30年度

【事業実施期間】 平成30~31年度





【実施体制】 標津町地域協議会 (事業実施主体) 標津町エコ 体験•交流 宿泊 食事 その他 ツーリズム 部門 部門 部門 交流推進協議会 行政 ガイド協会 •事務局 旅館組合 ガイド協会 ·商工会 (ホテル川畑、他) (カヌ一部会、他) 食部会 ·GTF、漁師会(郷土料理武田 ·漁協、農協 (農家民泊、他) (サケ・マス有効 利用調査実行委員

【特徴的な取組】

- 国内初の「川」のサーモンフィッシングなど、鮭を中核とした海の暮らしを体感するコンテンツの磨き上げ
- 漁業と酪農とのつながりや豊かな自然環境との共存をコンセプトとし、民泊と旅館泊による滞在プログラムを創出
- インバウンドに対応するガイドの育成を行い、既存ガイド との連携による受入モデルを確立する



サーモンフィッシング

酪農体験



インバウンド対応ガイド研修

【取組内容】

- 〇コーディネート組織形成・受入体制の構築(体制整備)
- ・関係団体との検討会の開催、役割や調整機能の検討
- •先進地視察
- 〇滞在型プログラムのブラッシュアップ・新規開発(実践)
 - ・受入に関する意向やインバウンド環境対策の状況調査
 - ・民泊・マーケティング・インバウンドに関する研修会の実施
 - ・滞在プログラム造成のワークショップ・検討
 - •インバウンド対応ガイド研修の実施
 - ・モニタープログラムの実施(漁業と酪農の暮らし+旅館×民泊モデル)
- 〇マーケティング活動及びプロモーションの展開(普及)
 - ・各プログラムを発信するための素材収集とツール作成
 - ・地域住民を対象としたフォーラムの開催
 - インバウンド向けファムトリップの実施
- •AT市場を意識した情報発信

<モニターツアー実施の様子>







復元鮭番屋にて昼食

漁師什事体験

農家民泊体験

インバウンド対応状況(青:対応)					
Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュ レス	外国語 HP	外国語 案内表示	外国語 ネット予約
Wife	wc	¥		Aa	